

1 研究主題

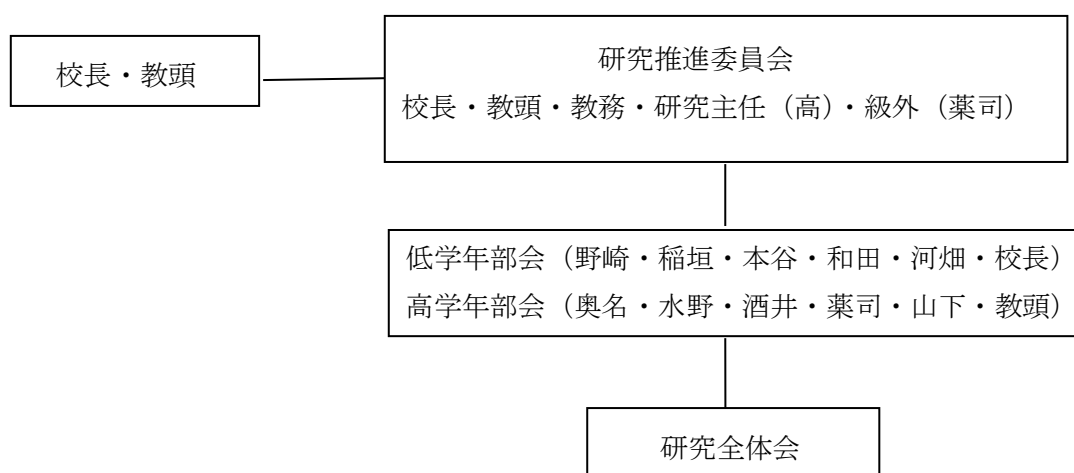
主体的に聞き、自ら考え、ともに学び合う子の育成 —国語科を中心として—

2 主題設定の理由

本校は、「心豊かにたくましく 自らの生き方を創造する 児童生徒の育成」という教育目標のもと、国語科「説明的な文章」を中心に研究を3年間行ってきた成果として、児童の実態に応じた効果的な言語活動が全校で実践できるようになった。また、目に見える成果としては、児童の学習の足跡である成果物の質が全体的に向上したという点も挙げられる。しかし、児童の「読む」力は短期間に簡単に身に付くものではない。文章の構造や内容を把握したり、必要な言葉や情報を選んだりする力は不十分で、主体的に「読む」ことができ、学んだことを色々な場面で汎用的に使うことができる児童は少ないというのが課題である。学び合いの場面では、自分の考えは持っていないが表現できない児童がいたり、聞いているだけになり、互いに質問し合い深めようとするまでに至らなかつたりすることが現状である。「読む」「読み取る」力の弱さは、「聞く」力の弱さ、とりわけ「素直に聞く（読む）力」が足りないからであると考え。相手の話をちゃんと聞かず、途中から自分の枠組みで人の話を聞いてしまい、その結果、相手の求める条件を落としてしまう事と同じ状況になると考える。

本校がこれまで継続的に取り組んできた「北前プロジェクト」を今年度はさらに意識し、学習規律を徹底させる。「北前プロジェクト」の本来の目的は、学習規律を守り、学習の基盤づくりを行うことであり、児童の学びを支えるのは学習基盤であるからだ。そのことにより、児童が主体的に聞き、自ら考える力を身に付けることで、児童の学び合いが充実し、児童は「わかった」「できた」と達成感のある学びができるのではないかと考える。そして、学年の系統性を考え、積み上げた力は、中学校の学習へもつながることから、本校児童がまずつけるべき力は、聞く力であると考え、国語科を軸に学校研究を進めていく。

3 研究の組織



4 研究全体構想図

〈学校教育目標〉 心豊かにたくましく 自らの生き方を創造する 児童生徒の育成

【研究主題】

主体的に聞き、自ら考え、
ともに学び合う子の育成

【研究を通してのめざす児童の姿】

○主体的に学ぶ子

・自ら課題を発見し、主体的・協働的に解決しようとする意欲をもつ。

○自分の考えを持ち、表現する子

・自分の考えを持ち、相手を意識して考えの根拠や筋道を明確に表現できる。

○学び合い深め広げる子

・より良い解決に向かうための質の高い学び合いを経て、自分の考えを再構築することができる。

○既習の知識・技能を身につけている子

・基礎的・基本的な知識や技能を身につけている。

・一時間や単元で学習したことを身につけている。

授業改善

【聞いて考えを表現する力を育くむ授業づくり】

- (1) 学習意欲を高める授業設計の工夫
- (2) 児童主体の学び合いの充実
- (3) 学びの自覚化の充実

学びを支える学習基盤づくり

学び合える学習集団づくり

- ・北前プロジェクトの継続実践
- ・聞く力の育成

語彙力・言語力を育てる活動

- ・集中力をつける朝学習
- ・読書活動の充実
- ・言語環境の整備

温かい学級づくり

生徒指導の三機能がある学級づくり

5 研究の内容

(1) 研究の重点と検証方法

| | 重点 | 目指す児童の姿 | 検証方法 |
|---|-------------------------|--|----------------------------|
| ① | 「つきたい力」を明確にした 授業設計 | 単元のねらいをつかみ、単元の見通しを もって学習を進めることができる | 児童アンケート 検証シート |
| ② | ねらいに迫る必要感のある学 び合いの工夫 | 目的意識をもって児童主体の学び合い ができる。児童同士で質問し合い深める ことができる。 | 児童アンケート 検証シート |
| ③ | 学びの自覚化の充実 | 1時間毎や単元毎の学びや成長を振り 返り、表現することができる。 | 児童アンケート 検証シート |
| ④ | 学習の基盤づくり 聞く力の育成 | 当該学年の漢字や言葉の使い方を身に つける。主体的に聞くことができる。 | 児童アンケート 検証シート 漢字計算検定 |

(2) 授業づくり

- 北前プロジェクトの充実・・・定着に向けた呼びかけ、児童アンケートの実施と集約
- 学び合いワードの定着・・・学び合いの活性化につながる提案、呼びかけ
- 授業実践内容の共有・・・授業検証の情報共有のための研究通信作成

(3) 基盤づくり

- 聞く力の育成・・・聞き方名人の提案
- 語彙力と集中力を高める朝学習・・・朝学習の計画、提案、漢字計算検定の作成、読書活動の計画
- 言語環境の整備・・・暗唱音読活動の提案（ことわざ、四字熟語、詩などの可視化）、
言語活動の共有

6 研究計画

- ・全員が授業公開する。
- ・全体授業を各学年1回ずつ行う。(計6回)
- ・指導案検討や模擬授業、実践、授業整理会を通して、教材や指導過程・指導方法について研究する。
- ・指導主事から助言を頂く

| | | |
|-----|----|------------------------------|
| 一学期 | 4月 | ・研究計画の作成 ・研究全体会（今年度の研究計画） |
| | 5月 | 「北前プロジェクト」確認期間 ・提案授業（5年） |
| | 6月 | ・全体研究授業（4年） |
| | 7月 | ・研究全体会（2学期からの研究の重点について） |

| | | |
|-------------|-----|---|
| 二 学 期 | 8月 | ・小中合同授業研・指導案検討・模擬授業（6年）道徳 |
| | 9月 | 「北前プロジェクト」重点取り組み期間 ・小中合同授業研究会 道徳（6年） |
| | 10月 | ・計画訪問 ・全体研究授業（3年） |
| | 11月 | ・全体研究授業（1年） ・全体研究授業（2年） |
| | 12月 | ・研究全体会（3学期の研究の重点について） ・2学期の検証と改善の検討 |
| 三 学 期 | 1月 | ・研究のまとめ 作成 |
| | 2月 | ・研究全体会（今年度の成果と課題） |
| | 3月 | ・次年度の方向づけ |

※9～11月内に計画訪問予定 ※要請訪問は必要に応じて依頼